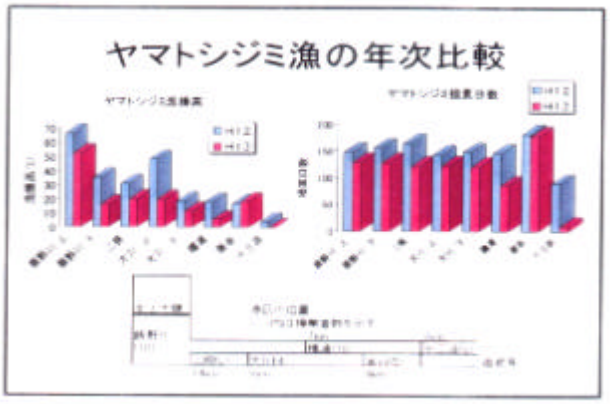
北上川汽水域環境調査で局長表彰受賞

自然界を取り巻く環境要因は、単体で、また複合的に生物に作用し、あらゆる生物はそれらのバランスの上に適応して生存しています。

北上川の汽水域及び海域は、河川水から栄養分の供給を受け、生物活動が盛んな水域です。この水域はこれまで豊かな漁場環境が形成されてきましたが、近年徐々に漁場をとりまく環境の変化も指摘されはじめています。

三井共同建設コンサルタントは、これらの要因を明確にする目的から、北上川汽水域環境調査を受託し、平成１４年東北地方整備局様より局長表彰を受賞いたしました。

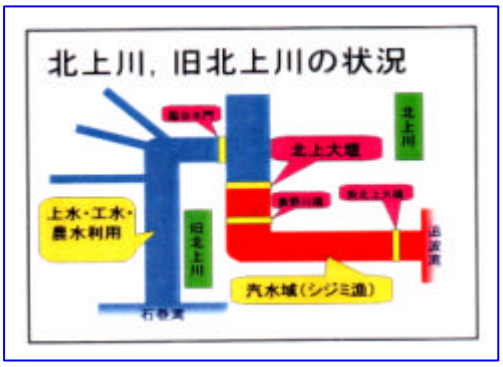


本調査は、北上川の汽水域並びにその流入海域を対象として、生物の生息環境や漁業環境の実態を把握し、河川流量、水質などの環境要因が汽水域及び海域の環境形成に果たしている役割と課題を明らかにし、今後の環境保全に役立てることを目的としています。

平常時と渇水時の【溶存酸素量の変化】【塩分の変化】、平常時と出水時の【塩分の変化】【濁りの変化】、などを調査し、それぞれの相関関係(ｲﾝﾊﾟｸﾄ)を明確にすると共に、そこに生息する生物及び生息環境を把握するなど、物理・化学特性調査および生息環境特性調査等を行ないました。

三井共同建設コンサルタント株式会社

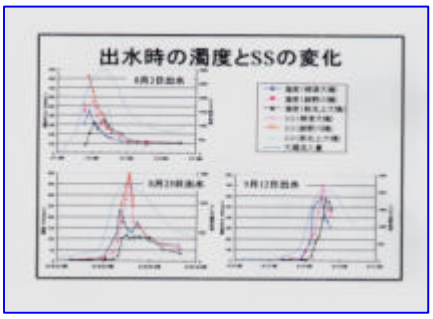
〒169-0075　東京都新宿区高田馬場１－４－１５　ＴＥＬ０３－３２０５－５７１５

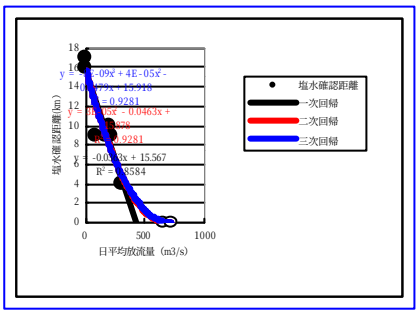


北上川は河口から 26Km 地点において旧北上川と分流し、その後 17.5Km 地点の北上大堰を経て追波湾に流入しています。北上川から分派した旧北上川は、支川の江合川及び迫川、旧迫川と合流した後、石巻市街地を経て太平洋に注いでいます。

北上川の大堰下流は塩水と淡水が混合する汽水域となり、環境条件が多様で変化に富むことが知られており、ヤマトシジミ等の漁場として利用されています。また、旧北上川では河川水は農業用水や都市用水として利用されています。

本調査では両河川での汽水域利用の現状を把握し、流量変化による汽水域の物理・化学特性（環境条件）について調査分析するとともに水質予測計算を行いました。そして、これら環境条件の変化に伴うヤマトシジミ等の生息環境の変動を整理分析し、生態環境と利水環境を保全・改善するための、両河川における平常時の望ましい流量を検討しました。





その他の主な河川関連業務の表彰状・感謝状受賞業務

■隼人堀川堰設計業務	埼玉県土木部
■一関遊水地管理システム検討業務	建設省東北地建岩手工事事務所
■印旛沼総合開発事業計画検討業務	建設省関東地建利根川下流工事事務所
■荒川調節池内囲堤水門詳細設計業務	建設省関東地建荒川上流工事事務所
■外かん治水排水検討業務	建設省関東地方建設局
■処理場跡地利用概略検討業務	建設省中国地建出雲工事事務所
■田瀬ダム環境整備事業業務	建設省東北地方建設局
■会の川親水公園詳細設計業務	彩の国さいたま景観賞実行委員会
■三郷地区排水概略設計業務	建設省関東地方建設局
■小貝川激甚災害対策特別緊急事業	(社)全日本建設技術協会
■長良川河口堰詳細設計	水資源開発公団

三井共同建設コンサルタント株式会社

〒169-0075　東京都新宿区高田馬場１－４－１５　ＴＥＬ０３－３２０５－５７１５